

## 第4回社会連携フォーラムin庄内

# 医療との連携における 新しい“ちいきづくり”

医療は地域とどのように連携すればよいのだろうか。そのヒントがここに集結する。

平成30年 **9月8日** (土) **13:20~16:50**  
(開場12:30~)

会場 鶴岡市先端研究産業支援センター  
(鶴岡メタポロームキャンパス) レクチャーホール

参加費：一般**2,000**円、NPO会員**1,500**円、学生**1,000**円  
懇親会：**4,000**円 (会場：三原皮膚科)

写真提供：島貫隆夫 (日本海総合病院院長)

### ■基調講演 「医療・介護と地域がつながる“社会連携”の視点」



東北公益文科大学 准教授 鎌田剛

包括ケアの実現には、医療機関同士の医療連携だけでなく、介護も含む多職種連携と地域住民や企業・NPO等も巻き込んだ“社会連携”が求められる。この3つの連携を組み合わせたハイブリッドな地域づくりについて、理論と事例の側面から検討を加える。また、学生による地域調査とワークショップを通じた政策提言の活動について、東北公益文科大学学生が報告する。

### ■社会連携実践報告

#### ■わが街健康プロジェクト。～市民と学生と共に医療を考え行動する～

倉敷中央病院 地域医療連携・広報部 部長 十河浩史

#### ■地域医療リーダー養成講座「日南塾」から「にちなん医療市民サポーターズ」へ

宮崎県立日南病院医療連携科部長/日南塾 塾長 木佐貫篤

#### ■医療・介護と企業が連携する時代2018 -N[EXT]A (ネクスタ) の事例から-

済生会新潟第二病院 地域連携福祉センター 副センター長 斎川克之  
次世代地域医療研究会N[EXT]A(ネクスタ) 事務局長 島村実希

#### ■木野俣自治会「いきいき隊」～自分で、年金+1000円を稼ごう～

鶴岡市木野俣自治会 会長 五十嵐正直

#### ■コワーキングスペースみどりまち文庫～医療と地域をつなぐ拠点として～

株式会社瀬尾医療連携事務所 代表取締役 瀬尾利加子

#### ■市民と保健・医療に情報の掛け橋を

～慶應義塾大学先端生命科学研究所からだ館の挑戦～

慶應義塾大学先端生命科学研究所からだ館 スタッフ 日下部ゆき・藤井紀子

### ■総合ディスカッション

か  
ら  
お  
し  
込  
み  
く  
だ  
さ  
い  
。  
ワ  
ー  
ク  
の  
ホ  
ー  
ム  
ペ  
ー  
ジ  
申  
込  
み  
フ  
ォ  
ー  
ム  
N  
P  
O  
法  
人  
全  
国  
連  
携  
実  
務  
者  
ネ  
ッ  
ト



実践報告（報告8分）

わが街健康プロジェクト。～市民と学生と共に医療を考え行動する～ 倉敷中央病院 地域医療連携・広報部部長 十河浩史

■倉敷の24の医療機関が活動。年4回の講演会、年2回のディスカッション、学生による啓発ポスター制作を運営。その中に楽しく継続する仕組みやストーリーを埋め込み、県内に同様の取り組みが広がってきている。

地域医療リーダー養成講座「日南塾」から「にちなん医療市民サポーターズ」へ 宮崎県立日南病院医療連携部長/日南塾塾長 木佐貫篤

■日南市では医療者と市民が共に医療などを学ぶ「日南塾」を毎年開催。これまで高校生を含む1-4期生約100名が修了しており、平成29年には日南塾OBを主体とする市民団体「にちなん医療市民サポーターズ」も発足した。今後の展開についても報告する。

医療・介護と企業が連携する時代2018-N[EXT]A（ネクスタ）の事例から～

済生会新潟第二病院地域連携福祉センター副センター長 斎川克之/次世代地域医療研究会N[EXT]A（ネクスタ） 事務局長 島村実希

■医療介護福祉従事者と民間など複数のコアが集い、共に「最高の地域医療」へ向けて機能するために、従来の仕組みを超えた次世代の仕組みについて議論する場「次世代地域医療研究会N[EXT]A（ネクスタ）」の立ち上げからこれまでの進捗を報告する。

木野俣自治会「いきいき隊」～自分で、年金+1000円を稼ごう～ 鶴岡市木野俣自治会 会長 五十嵐正直

■鶴岡市の木野俣自治会が独自に有償ボランティア「いきいき隊」を組織し高齢者（最高齢は90歳）が一日1000円を稼ぐ仕事づくりで、生きがいと見守りを実践中である。また、集落センターに健康相談所を設置し近隣地区の医師などとの連携も進めている。

コワーキングスペースみどりまち文庫～医療と地域をつなぐ拠点として～ 株式会社瀬尾医療連携事務所 代表取締役 瀬尾利加子

■市内の多職種連携がすすめられる中で社会保障の制度だけでは対応しきれない課題解決に向け地域住民と対等で近い関係を作り一緒に考える場が必要と考え会員制の形で取り組みに挑戦中である。

市民と保健・医療に情報の掛け橋を～慶應義塾大学先端生命科学研究科からだ館の挑戦～ からだ館スタッフ 日下部ゆき・藤井紀子

■健康でいることはもちろん、たとえ病気になっても自分らしく生きていけることが大切だという認識のもと、市民と医療の情報の架け橋を目指して10年以上活動してきた。市民の自発的な「学び」を支援する特色のある勉強会を地域の医療者や行政と協働して開催したり、がん患者ピアサポートの場を設けている。学んだ者が次には主体となり、その「学び」を社会に還元する、そんな知の循環ができてきた。

総合ディスカッション 実践報告者と会場が一体となりディスカッションを行います。

懇親会 会場 三原皮膚科 山形県鶴岡市錦町17-3 参加費 4,000円

鶴岡地区医師会長によるDrKen's Barで、庄内の地元食材の美味しい料理をお楽しみください。

チーム鶴岡がおもてなしいたします。



社会連携フォーラム会場から  
懇親会会場までのルート

お問合せ先

特定非営利活動法人全国連携実務者ネットワーク  
〒165-0026 東京都中野区新井2-1-16KMTビル601  
電話 03-5942-4777 FAX 03-5942-4778

第4回社会連携フォーラム参加申込欄 【申し込み締切 平成30年8月10日（金）】

ホームページからのお申し込みを推奨しております。 <http://www.renkei-network.net/>

パソコンが苦手等の場合は、以下に記載の上、NPO事務局宛にFAX（03-5942-4778）にてお申込みください。

NPO会員区別	会員 ・ 非会員		
社会連携フォーラム	参加 ・ 不参加	懇親会	参加 ・ 不参加
氏名（フリガナ）	（ ）		
所属組織			
職種・業種	医療・介護福祉・一般企業・行政・自治会・一般市民・学生		
住所 都道府県含む	〒		
メールアドレス	電話番号		
	FAX番号		

主催：特定非営利活動法人全国連携実務者ネットワーク

共催：慶應義塾大学先端生命科学研究科からだ館

後援：山形県、鶴岡市、一般社団法人鶴岡地区医師会、一般社団法人鶴岡地区歯科医師会、

公益社団法人山形県栄養士会鶴岡地域事業部